

# コンピューターの準備

Hewlett-Packard 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

HP 以外によって製造された装置上のソフトウェアの使用または信頼性につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HP の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

Hewlett-Packard Company

P.O. Box 4010

Cupertino, CA 95015-4010

USA

Copyright © 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本製品には、著作権によって保護されている技術が組み込まれています。この技術は、米国 Macrovision Corporation およびその他の権利所有者が所有する米国特許権およびその他の知的財産権によって保護されています。この技術を使用するには、米国 Macrovision Corporation の許諾が必要です。米国 Macrovision Corporation の許諾を受けない場合、ご家庭または個人で鑑賞するなど限られた用途のみ使用できます。また、本製品のリバーシブルエンジニアリングおよび逆アセンブルは禁じられています。

Microsoft、Windows ロゴ、および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED 802.11n Draft 2.0

Draft 2.0 は、2007 年 6 月に Wi-Fi Alliance によるテストで使用された、IEEE 802.11n 規格の未承認バージョンです。

802.11n 無線 LAN (無線ローカルエリアネットワーク) の規格はドラフト版の仕様であり、最終版ではありません。最終版の仕様がドラフト版と異なる場合、他の 802.11n 無線 LAN デバイスとの通信に関するこのデバイスの機能が影響を受ける可能性があります。

HP はテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HP の製品を著作権法で許可されていない目的で使用することを是認するものではなく、推奨もしません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

コンピューターの準備

HP Pavilion Desktop PC

初版 2009 年 10 月

製品番号 : 517215-292

日本ヒューレット・パカード株式会社

# 表記規則

次の項では、この文書で使用されている表記規則について説明します。

## 警告、注意、および注

このガイドの全体にわたって、文章にアイコンが付いている場合があります。これらの文章は警告、注意、および注を示し、次のように使用されています。



**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。また、その指示に従わないと、装置が破損して永久に使用できなくなったり、データが完全に失われて復元できなくなったりする恐れがある警告事項を表します。



**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

---

**注：**補足情報を表します。

---



# 目次

コンピューターのセットアップ .....	1
コンピューターの設置状況の確認 .....	1
スピーカーまたはマイクの接続 .....	4
ネットワークへの接続 .....	6
テレビ信号とビデオケーブルの接続 .....	7
<b>コンピューターを使用する前に .....</b>	<b>9</b>
コンピューターの電源切断 .....	10
コンピューターの再起動 .....	10
インターネットへの接続 .....	10
スピーカーの音量の調整 .....	12
マイクを選択 .....	12
コンピューターの保護 .....	13
インターネットコンテンツの制限 .....	15
コンピューターでの Microsoft のソフトウェア自動アップデートの設定 .....	15
ユーザーアカウントの設定 .....	16
ソフトウェアおよびハードウェアデバイスを追加するときのガイドライン .....	16
古いコンピューターから新しいコンピューターへのファイルおよび設定の転送 .....	17
<b>コンピューター固有の機能 .....</b>	<b>19</b>
メモ리카ードリーダーの使用 .....	19
HP パーソナル・メディア・ドライブおよび HP ポケット・メディア・ドライブの使用 .....	21
縦向きの CD/DVD ドライブの使用 .....	22
LightScribe テクノロジーの使用 .....	23
リモコンの使用 .....	24
<b>詳細情報の参照 .....</b>	<b>25</b>
[Windows ヘルプとサポート] の使用 .....	25
サポート Web サイトへのアクセス .....	25
Web での製品マニュアルの検索 .....	25
画面での製品マニュアルの表示 .....	26
[PC ヘルプとツール] フォルダーの使用 .....	26
安全で快適なコンピューターの利用 .....	26
<b>トラブルシューティングおよびメンテナンス .....</b>	<b>27</b>
コンピューターに関するトラブルの解決方法 .....	27
ソフトウェアのトラブルシューティング .....	44
メンテナンス .....	47
埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護 .....	48
システムリカバリ .....	49
リカバリ手順実行後の作業 .....	53
その他のトラブルシューティング .....	53
<b>索引 .....</b>	<b>55</b>



# コンピューターのセットアップ



**警告：**電源装置は、コンピューターを購入した国 / 地域に対応するよう事前に設定されています。他の国 / 地域で使用する場合は、電源コンセントにコンピューターのプラグを差し込む前に、その国 / 地域の電圧条件を調べてください。



**警告：**コンピューターを電源システムに接続する前に、『規定および安全に関する情報』の「安全に関する情報」を参照してください。



**警告：**操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上 / 作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的 / 物理的安全基準についての情報も提供しています。

『クイック セットアップ』の手順に沿って、コンピューターをセットアップします。

- 1 キーボードおよびマウスをコンピューターに接続します。
- 2 ディスプレイ（モニター）をコンピューターに接続します。
- 3 電源をコンピューターに接続します。
- 4 コンピューターの電源を入れます。9 ページの「コンピューターを使用する前に」を参照してください。

**注：**初めてコンピューターの電源を入れた後、初回セットアップを完了するまでは、他のデバイスをコンピューターに接続または追加しないでください。9 ページの「コンピューターを使用する前に」を参照してください。

## コンピューターの設置状況の確認

- 以下の点を守って、コンピューターを適切な場所に設置してください。
  - 本体の前後に十分な間隔を空け、通気孔を塞がないような場所に置いてください。
  - すべてのケーブルを、作業の妨げにならないように配置します。ケーブルを通路、家具の下、または踏まれるような場所に敷設しないでください。




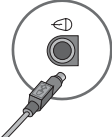





**警告：**水、ほこり、湿気、油煙などの多い場所に設置しないでください。内部の温度が上昇して火災、故障、感電などの原因となることがあります。

- モニター、コンピューター、オプション製品などを保護するために、すべての電源コードをサージ保安器に接続します。サージ防止機能のあるマルチソケット（テーブルタップ）、無停電電源装置（UPS）、または同様の機能を持つ機器を使用してください。  
コンピューターでTVチューナー、モデム接続、または電話接続を使用する場合は、それらの信号入力でもサージ保安器を使用してコンピューターを保護します。テレビケーブルまたは電話回線コードを、サージ保安器の入力と出力に接続してから、コンピューターに接続します。
- コンピューターに関する追加の印刷物や最新情報が梱包箱に入っていますので、確認してください。


## その他のデバイスとコンピューターの接続

一部の周辺機器は、コンピューターの背面または前面のコネクタに接続できます。

注：コネクタの場所、用途、および数は、お使いのコンピューターによって異なる場合があります。


電源コード およびデバイス	アイコン/ ラベル	説明および機能
		電源コネクタ
		マウス（PS/2）コネクタ：マウスを接続します
		キーボード（PS/2）コネクタ：キーボードを接続します
		USB（Universal Serial Bus）2.0 コネクタ：USB マウス、USB キーボード、デジタルカメラ、およびその他の USB デバイスを接続します

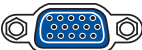


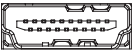
ネットワーク	アイコン / ラベル	説明および機能
	ETHERNET	イーサネット LAN コネクタ：イーサネット (RJ-45) ローカルエリアネットワーク (LAN) のハブまたはブロードバンドに接続します。この有線 LAN コネクタは、ネットワークインターフェイスアダプター (ネットワークインターフェイスカードまたは NIC と呼ばれます) です。緑色のランプは接続が有効であることを示します


ディスプレイのビデオ出力	アイコン / ラベル	説明および機能
--------------	------------	---------


注：詳しくは、ディスプレイ デバイスに付属の取扱説明書を参照してください

	DVI	デジタルビデオ出力コネクタ (一部のモデルのみ)：モニターに接続する場合におすすめします。デジタル対応モニターやディスプレイを接続します。モニターやディスプレイをコンピューターに接続するために、VGA-DVI または HDMI-DVI アダプターが必要な場合があります
--	-----	--

	VGA/Monitor	VGA モニター出力コネクタ：VGA モニターを接続します。DVI コネクタのみを持つモニターをコンピューターに接続するために、VGA-DVI アダプターが必要な場合があります
--	-------------	--

	HDMI	HDMI モニター出力コネクタ (一部のモデルのみ)：テレビに接続する場合におすすめします。HDMI モニターまたはテレビを接続します。DVI コネクタのみを持つモニターをコンピューターに接続するために、HDMI-DVI アダプターが必要な場合があります
--	------	---

	VGA-DVI	VGA-DVI アダプター：テレビまたはモニターのビデオケーブルを調整して、コンピューターに接続できるようにします
--	---------	---

	HDMI-DVI	HDMI-DVI アダプター：テレビまたはモニターのビデオケーブルを調整して、コンピューターに接続できるようにします
--	----------	--

## スピーカーまたはマイクの接続

スピーカーは、別売の場合と、モニターに装備されている場合（一部のモデルのみ）があります。ヘッドフォンおよびマイクは別売です。

コンピューターモデルによっては、コンピューターの背面にオーディオコネクタが付いている場合があります。コンピューターの前面にもコネクタが付いているコンピューターもあります。オーディオコネクタは、コンピューターからアクティブ（電源のある）スピーカーまたはスピーカーシステム、ヘッドホン、入力デバイス（マイク、Web カメラ、オーディオプレーヤーなど）などに接続するためのステレオミニコネクタです。

コンピューターに装備されている可能性があるオーディオコネクタ（すべてではありません）を、以下の表に示します。

注：コネクタの場所、用途、および数は、お使いのコンピューターによって異なる場合があります。

### スピーカーの接続

スピーカーは、別売の場合と、モニターに装備されている場合があります。

お使いのコンピューターでは、アクティブ（電源のある）スピーカーシステムのみサポートします。つまり、スピーカーシステムに専用の電源（電池、専用の電源コードなど）が必要です。

その他のマルチチャンネルスピーカーを接続および設定する方法については、25 ページの「サポート Web サイトへのアクセス」の手順に沿って、お使いのモデルの Web サポートページを参照してください。

オーディオコネクタ	アイコン / ラベル	説明および機能
	 	オーディオライン出力コネクタ（黄緑色）：フロントの左右のアナログスピーカーを接続します
	 	オーディオライン入力コネクタ（青色）：コンピューターへ入力する CD プレーヤーなどのアナログオーディオデバイスを接続します マルチチャンネルオーディオ設定ではリアライン出力として機能する場合があります
	Center	ライン C/Sub コネクタ（金色）：マルチチャンネルオーディオ設定の場合に、センター/サブウーファースピーカーを接続します
	Rear	ラインリアコネクタ（黒色）：マルチチャンネルオーディオ設定の場合に、リアスピーカーを接続します
	Side	ラインサイドコネクタ（灰色）：8 スピーカーシステム（7.1）でサイドスピーカーを接続します

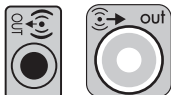
## ステレオスピーカーシステムの接続

アクティブスピーカー（左右のステレオスピーカー、2個のスピーカーとサブウーファーからなる2.1システムなど）をコンピューターに接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピューターの電源が入っていないことと、スピーカーシステムの電源がオフになっていて、プラグが抜かれていることを確認します。
- 2 スピーカーシステムのケーブルをコンピューターの背面にある黄緑色のオーディオライン出力コネクタに接続します。

または

コンピューターに同梱されていた2.1スピーカーまたはその他のマルチチャンネルスピーカーの場合は（一部のモデルのみ）、サブウーファーをコンピューターのオーディオライン出力コネクタに接続し、左右のスピーカーをサブウーファーに接続します。



---

注：スピーカーシステムの電源を入れる時は、先に必ずコンピューター本体の電源を入れてください。

---

## ヘッドフォンの接続

ヘッドフォンは別売です。

お使いのコンピューターには、前面にヘッドフォンコネクタ（黄緑色）があります。ヘッドフォンコネクタには、ヘッドフォンのアイコンが付いています。

ヘッドフォンを、コンピューター背面のオーディオライン出力コネクタ（黄緑色）に接続することもできます。

ヘッドフォンを差し込むと、通常、スピーカー（およびサブウーファー）のサウンドはミュート（消音）されます。



## マイクの接続

マイクは別売です。

コンピューターの背面にマイクコネクタ（ピンク色）があります。一部のモデルのコンピューターには、2つ目のマイクコネクタが前面にあります。

マイクをコンピューターのマイクコネクタに接続します。



録音時の音量の調整またはマイクの見直しについては、5ページの「マイクの接続」を参照してください。

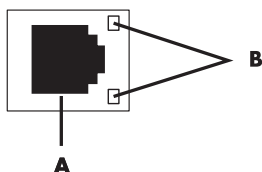
# ネットワークへの接続

ここでは、有線接続または無線接続によるネットワークへの接続について説明します。

## 有線のイーサネットネットワーク接続のセットアップ

コンピューターの背面にあるイーサネット（RJ-45）コネクタは、ネットワークへの高速または広帯域の接続を提供します。このインターフェイスをローカルエリアネットワーク（LAN）などのネットワークに接続した後、そのネットワークを介して、インターネットに接続できます。

- 1 イーサネット（ネットワーク）ケーブルをコンピューター背面のイーサネット（RJ-45）コネクタ（**A**）および、ネットワークルーターやLAN デバイスに接続します。



- 2 コンピューターの電源を入れた状態で、イーサネットコネクタの隣のランプ（**B**）の状態を確認します。
  - **ACTIVITY**：ネットワークデータ転送中に黄色に点灯します。
  - **LINK**：ネットワーク接続が有効な場合に緑色に点灯します。

---

注：お使いのイーサネットコネクタにランプが1つしかない場合もあります。

---

## 無線ネットワーク接続のセットアップ

（一部のモデルのみ）

コンピューターに付属しているアンテナを使用して、IEEE 802.11b、802.11g、または 802.11n（一部のモデルのみ）をサポートする無線ネットワークにコンピューターを接続できます。外部アンテナが提供されている場合、無線信号の範囲および感度を上げるには、外部アンテナをネットワークカードの無線アンテナコネクタに接続します。


---

注：無線のパフォーマンスを最大限にするには、コンピューターの上または周囲に障害物がない高い位置にアンテナを置いてください。

---

外部アンテナを使用するには、インターネット接続が可能な既存の無線 LAN が必要です。詳しくは、契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）に問い合わせてください。

無線 LAN デバイスがコンピューターに適切に取り付けられていることを確認するには、35 ページの「インターネットアクセス」を参照してください。

無線ネットワークのセットアップについて詳しく調べるには、Windows® の【スタート】ボタン  → 【ヘルプとサポート】の順にクリックし、ヘルプの検索ボックスに「無線ネットワークのセットアップ」と入力して [Enter] キーを押します。

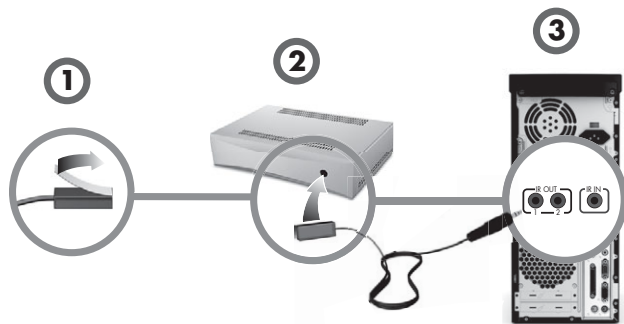
- 6 コンピューターの準備（機能はモデルにより異なります）

# テレビ信号とビデオケーブルの接続

## 赤外線ブラスターの使用

(一部のモデルのみ)

ケーブルテレビまたは衛星放送テレビのセットトップボックスを使用する場合は、リモートコントロールセンサーケーブル / 赤外線ブラスター (一部のモデルのみ) とコンピューターのコネクタを使用して、コンピューターからセットトップボックスを制御できます (一部のモデルのみ)。ブラスターの一方向の端 (1) のテープの紙をはがして、セットトップボックスの赤外線レシーバー (2) に貼り付け、もう一方の端をコンピューターの背面にある赤外線出力 (IR OUT) コネクタ (3) に接続します。リモコンをコンピューターの前面にあるリモートコントロールセンサーに向けて操作します。

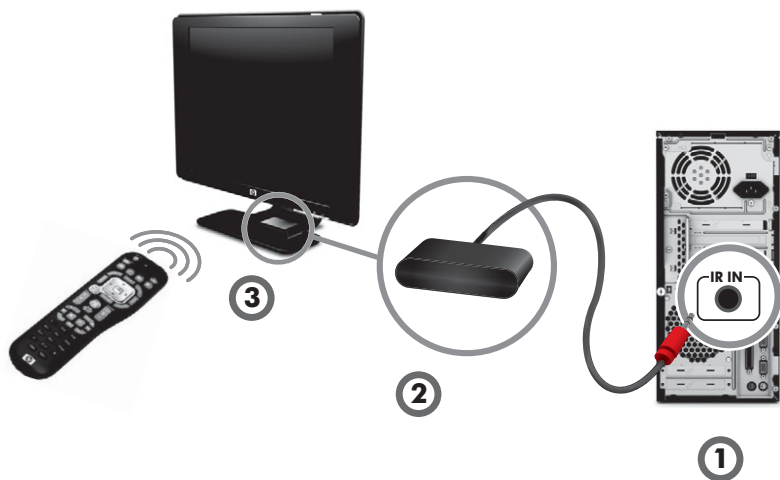


## 外付け赤外線レシーバーの使用

(一部のモデルのみ)

コンピューターの前面にあるリモートセンサーがリモコンの信号を受信できない位置にある場合は、外付け赤外線レシーバーを使用して、その赤外線レシーバーを、リモコンからの信号を受信できる位置に配置します。

外付けレシーバーをコンピューター背面の赤外線入力 (IR IN) コネクター (1) に接続します。赤外線レシーバー (2) を、リモコンからの信号を受信できる位置に取り付けます。リモコン (3) を外付け赤外線レシーバーに向けて操作します。



# コンピューターを使用する前に

『クイック セットアップ』に記載されている手順が完了したら、コンピューターの電源を入れることができます。

---

**注：**初めてコンピューターの電源を入れた後、初回セットアップを完了するまでは、他のデバイスをコンピューターに接続または追加しないでください。

---

コンピューターの電源を入れるには、以下の手順で操作します。

- 1 モニターの電源を入れます。
- 2 コンピューターの電源を入れます。
- 3 外付けスピーカーがある場合は、その電源を入れます。
- 4 画面の説明に沿って操作し、コンピューターと Microsoft® Windows® 7 をセットアップします。
  - お住まいの国または地域を選択する画面が表示された場合は項目を選択し、コンピューターの準備が終わるまで待ちます。(別の言語を選択した場合、1 回の言語セットアップに 30 分程度かかることがあります。)
  - 画面の説明に沿って操作し、ユーザー登録を行い、アップデートを申し込み、オンライン接続します (一部のモデルのみ)。
- 5 Windows 7 のデスクトップが表示されたら、初回セットアップは完了です。

コンピューターで作業を開始する方法については、このセクションの残りのトピックを参照してください。

## コンピューターの電源切断

Windows 7 を使用している時には、コンピューターの修復を行ったり、新しいハードウェアやカードをコンピューターに取り付けたり、バッテリーを交換したりするなど安全上の理由がない限り、コンピューターの電源を切る必要はありません。

コンピューターのシャットダウンの代わりに、コンピューターをロックしたり、スリープモードまたはハイバネーションモードにしたりすることができます。電源タイマーを設定すると、自動的にコンピューターをスリープモードまたはハイバネーションモードに変えることができます。

コンピューターには、以下の省電力状態があります。

- **スリープモード**では、ユーザーが速やかに作業に復帰できるように、ユーザーの作業内容がメモリに保存されます。メモリの内容がハードドライブに保存された後に、省電力状態に入ります。スリープモードの間、コンピューター本体のランプは点灯し続け、コンピューターはすぐにスリープモードを解除し、ユーザーの元の作業を復帰させる準備ができています。キーボードにスリープボタンがある場合は、そのボタンを押すだけでスリープモードに入ります。
- **ハイバネーションモード**（詳細な電源設定として使用できます）では、システムメモリがハードディスク上の一時ファイルに保存され、ハードウェアがオフになります。コンピューターを再びオンにすると、ユーザーが開いていたプログラム、フォルダー、文書が画面に復元されます。



## コンピューターの再起動

コンピューターを再起動すると、コンピューターが初めから起動しなおされます。再起動は、ソフトウェアを使用中に発生する多くの問題を解決できる、最も簡単かつ効果的な手段です。

また、ソフトウェアプログラムまたはハードウェアデバイスをコンピューターに追加した時に、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

コンピューターを再起動するには、以下の手順で操作します。

- 1 **【スタート】** ボタンをクリックします。
- 2 **【シャットダウン】** の隣の**矢印ボタン**をクリックします。
- 3 **【再起動】** をクリックします。

または

コンピューター前面または上部にある**電源ボタン**を短く押します。

## インターネットへの接続

インターネットに接続するには、以下のことが必要です。

- 1 高速インターネットサービスをインターネットサービスプロバイダー (ISP) から購入する。
- 2 ブロードバンドモデム (DSL または ケーブル) を購入する。ISP から提供される場合もあります。
- 3 無線ルーター (別売) が必要な場合は、購入して設置する。

コンピューターをインターネットに接続するには、ローカルエリアネットワーク (LAN) またはデジタル加入者回線 (DSL) を使用します。接続方法について詳しくは、インターネットサービスプロバイダー (ISP) に確認してください。



- 1 ハードウェアの接続については、1 ページの「コンピューターのセットアップ」を参照してください。以下を参照する必要があります。
  - ネットワーク接続の場合は、6 ページの「ネットワークへの接続」を参照してください。無線 LAN デバイスの取り付けを確認するには、35 ページを参照してください。
- 2 インターネットに接続するには、以下の手順で操作します。
  - ISP に申し込みます。ISP のアカウントをすでに持っている場合、この手順は省略し、ISP からの指示に沿って操作してください。
  - コンピューターの初回セットアップ時にインターネットサービスの設定を行わなかった場合は、[コントロールパネル]の[ネットワークとインターネット]からインターネットサービスの設定を行います。
    - a [スタート]ボタンをクリックします。
    - b [コントロールパネル]をクリックします。
    - c [ネットワークとインターネット]をクリックして、[ネットワークと共有センター]をクリックします。
    - d 左側にある[接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。
    - e 接続の方法を選択します。
    - f ISP の情報を入力し、インターネットサービスを設定します。
- 3 ISP のデスクトップアイコンをダブルクリックし、ログインします（一部の ISP では操作が異なります）。
- 4 インターネットに接続します。ISP を介して接続する必要があります。
  - ダイアルアップの場合のみ、ISP のデスクトップアイコンをダブルクリックし、ログインします。
- 5 Web ブラウザーを開き、インターネットを参照します。

任意の Web ブラウザーを使用できますが、多くのコンピューターには Microsoft Internet Explorer がインストールされています。Internet Explorer を開くには、以下の手順で操作します。

  - a [スタート]ボタンをクリックします。
  - b [すべてのプログラム]→[Internet Explorer]の順にクリックします。

---

注：インターネットへの接続に問題がある場合は、35 ページの「インターネットアクセス」を参照してください。

---

### 無線セキュリティ機能の使用

家庭用無線 LAN や既存の公共無線 LAN へのアクセスをセットアップする時は、常にセキュリティ機能を有効にして、ネットワークを不正なアクセスから保護してください。最も一般的なセキュリティレベルは、WPA パーソナル (Wi-Fi Protected Access Personal) および WEP (Wired Equivalent Privacy) です。

ネットワークをセットアップする場合は、以下に示すセキュリティ対策を 1 つ以上行います。


- ルーターで WAP パーソナルまたは WEP セキュリティ暗号化を有効にします。
- 初期設定されているネットワーク名 (SSID) およびパスワードを変更します。
- ファイアウォールをセットアップします。
- Web ブラウザーでセキュリティ設定を行います。

## スピーカーの音量の調整

音量を調整するには、いくつかの方法があります。Windows 7 のタスクバーにある音量アイコンを使用して、スピーカーの音量を設定します。その後、以下を使用して音量を調整できます。

- キーボードの音量のつまみまたはボタン（一部のモデルのみ）
- スピーカーの音量のつまみ（一部のモデルのみ）

スピーカーの音量を設定するには、タスクバーの音量アイコンを使用して、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの **[音量]** アイコンを右クリックして、**[音量ミキサーを開く]** をクリックします。  
[音量ミキサー] の設定ウィンドウが開きます。
- 2 スライダーをクリックおよび移動して、音量を調整します。
- 3 目的の音量レベルに調整できたら、右上隅にある **[X]** をクリックしてウィンドウを閉じます。

オーディオの問題については、34 ページの「オーディオおよびスピーカー」のトラブルシューティングの各項目を確認してください。詳しくは、[Windows ヘルプとサポート] を開くか、またはサポート Web サイトを参照してください（25 ページの「詳細情報の参照」を参照）。

## マイクの選択


コンピューターのマイクコネクタは、そのまま使用できるようになっています。複数のマイクを接続している場合は、Windows 7 で使用するマイクを選択します。

---

注：Web カメラまたはオーディオプレーヤーをコンピューターに接続している場合、Windows 7 では、そのデバイスからのオーディオ入力がマイク入力として認識される可能性があります。


---

Windows 7 で使用するマイクを選択するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの **[音量]** アイコンを右クリックして、**[録音デバイス]** をクリックします。[サウンド] ウィンドウが開きます。
- 2 使用するマイクを選択して **[既定値に設定]** → **[適用]** の順にクリックします。
- 3 **[OK]** をクリックします。

## Windows 7 でのマイクの録音レベルの調整

マイクの録音レベルを調整するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの **[音量]** アイコンを右クリックして、**[録音デバイス]** をクリックします。[サウンド] ウィンドウが開きます。
- 2 使用するマイクのコネクタをダブルクリックします。
- 3 **[レベル]** タブをクリックします。
- 4 スライダーをクリックおよび移動して、マイクの録音レベルを調整します。
- 5 **[OK]** をクリックし、もう一度 **[OK]** をクリックします。

# コンピューターの保護

以下のものを利用することにより、コンピューター、個人用設定、およびデータをさまざまな危険から保護します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォールソフトウェア
- 重要なセキュリティアップデート

注：セキュリティ機能に抑止効果はありますが、ソフトウェアによる攻撃、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

コンピューターへの脅威	コンピューターの機能
コンピューターまたはユーザーアカウントの不正な使用	ユーザーパスワード
コンピューターウィルス	ウィルス対策プログラム
データへの不正なアクセス	ファイアウォールプログラム Windows 7 アップデート
セットアップユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	管理者パスワード
コンピューターに対する現在または将来の脅威	Microsoftが提供するWindows 7の重要なセキュリティアップデート

## パスワードの使用

パスワードは、コンピューターの情報を保護するためにユーザーが指定する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じて、複数のパスワードを設定することができます。パスワードは、コンピューターにインストールされた Windows 7 オペレーティングシステムで設定することができます。



注意：コンピューターにアクセスできなくなることを防ぐため、自分で設定したパスワードは書き留めておいてください。パスワードの設定、変更、削除を行うとき、パスワードは表示されないため、各パスワードをすぐに記録し、他人の目に触れない安全な場所に保管しておく必要があります。コンピューター内のファイルにパスワードを保存しないでください。

Windows 7 の複数のセキュリティ機能に同じパスワードを使用できます。Windows 7 で設定したパスワードは、Windows 7 の画面で入力する必要があります。

Windows 7 のパスワードについて詳しく調べるには、[スタート] ボタン→[ヘルプとサポート] の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート] のヘルプの検索ボックスに「パスワード」と入力して [Enter] キーを押します。25 ページの「[Windows ヘルプとサポート] の使用」を参照してください。

## ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、コンピューターがコンピューターウイルスの危険にさらされます。コンピューターウイルスに感染すると、オペレーティングシステム、ソフトウェアプログラム、ユーティリティなどが使用できなくなる場合があります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウイルスを検出および駆除したり、多くの場合はウイルスの被害にあった箇所を修復したりできます。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

コンピューターにプリインストールされているウイルス対策プログラムには、ウイルス対策およびファイアウォールコンポーネントが含まれます。このソフトウェアの試用期間中は、無料で保護機能をアップデートできます。試用期間を過ぎた後も新しいウイルスからコンピューターを保護するには、延長アップデートサービスを購入します。ウイルス対策ソフトウェアの使用方法和アップデート方法、および延長アップデートサービスの購入方法については、ウイルス対策プログラム内で確認できます。

コンピューターウイルスについて詳しく調べるには、[スタート] ボタン→[ヘルプとサポート] の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート] のヘルプの検索ボックスに「ウイルス」と入力して [Enter] キーを押します。25 ページの「[Windows ヘルプとサポート] の使用」を参照してください。

## ファイアウォールソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、使用者や使用しているコンピューターの情報を第三者が不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するには、ファイアウォールソフトウェアを使用します。

- Windows 7 には、ファイアウォールソフトウェアが含まれています。
- コンピューターにプリインストールされているウイルス対策プログラムにも、ファイアウォールコンポーネントが含まれています。

ファイアウォールは、ログ、レポート、自動アラームなどの機能を使って、コンピューターでの送受信の流れを監視します。

状況によっては、ファイアウォールはインターネットゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有を妨害したり、承認済みの電子メール添付ファイルをブロックしたりすることがあります。この問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後、再びファイアウォールを有効にします。問題を完全に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

## インターネットコンテンツの制限

インターネットは多様な情報を提供していますが、情報によっては全利用者に適していないものもあります。コンテンツアドバイザー（Internet Explorer の機能）を使うと、以下のことを実行できます。

- パスワードの設定
- インターネットアクセスの制御
- コンピューターを使用するユーザーが表示できない Web サイトリストの作成
- コンピューターユーザーが許可を得て表示できるコンテンツと許可なく表示できるコンテンツの種類の調整

コンテンツアドバイザーで規制レベルを設定した場合、ユーザーは、承認するよう設定された Web サイトおよびその他のページを表示できます。しかし、規制されていない Web サイトまたは Web ページを表示するには、設定済みのコンテンツアドバイザーのパスワードを入力する必要があります。このため、ユーザーがパスワードを知らない場合、規制されていないページ（ヘルプとサポートや Internet Explorer であっても）はどれも表示できません。

コンテンツアドバイザーを有効にするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタートボタンをクリックします。
- 2 **[Internet Explorer]** をクリックします。
- 3 **[ツール]** → **[インターネット オプション]** の順にクリックします。
- 4 **[コンテンツ]** タブをクリックします。
- 5 **[コンテンツ アドバイザー]** 領域で、**[有効にする]** をクリックします。
- 6 **[全般]** タブをクリックし、**[パスワードの作成]** をクリックしてから、パスワードを入力します。
- 7 **[OK]** をクリックし、もう一度 **[OK]** をクリックします。

規制されていないサイトまたは承認したページへのアクセスを許可するには、以下の手順で操作します。

- 1 Web サイトを開きます。
- 2 パスワードウィンドウが表示されたときに、**[この Web ページを常に表示する]**、または **[今回のみ表示する]** オプションを選択します。

## コンピューターでの Microsoft のソフトウェア 自動アップデートの設定

Microsoft では、継続的に Windows 7 オペレーティングシステムをアップデートしています。Windows 7 Update を毎月実行してアップデートをインストールするか、または自動更新機能を使用してオペレーティングシステムを最新の状態に保つよう to してください。

インターネットに接続している場合、重要なアップデートが利用できるようになると、Windows 7 Update はポップアップメッセージまたは通知領域のアイコンを通して自動的にユーザーに通知します。Windows 7 Update のメッセージが表示されたら、アップデートをシステムにダウンロードすることを許可します。毎週または毎月、システムを更新している場合、ダウンロードにかかる時間はわずかです。



注意：お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューターウイルスから保護するため、通知を受け取った時点で速やかに **Microsoft** 社が提供する重要なアップデートをすべてインストールしてください。

---

オペレーティングシステムおよびその他のソフトウェアの追加アップデートが、コンピューターの出荷後にリリースされている可能性があります。利用可能なすべてのアップデートをダウンロードし、コンピューターにインストールします。

## ユーザーアカウントの設定

複数のユーザーとコンピューターを共有する場合、各コンピューターユーザーのユーザーアカウントを設定できます。Windows 7 は、ユーザーアカウントの情報を使用して、そのコンピューターユーザーがアクセスできるファイルやフォルダー、どんな場合にコンピューターに変更を加えることができるか、および個人設定を判別します。各ユーザーは、自分のファイルおよび設定にのみアクセスできます。

詳しくは、[スタート] ボタン → [ヘルプとサポート] の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート] のヘルプの検索ボックスに「ユーザーアカウント」と入力して [Enter] キーを押します。25 ページの「[Windows ヘルプとサポート] の使用」を参照してください。

## ソフトウェアおよびハードウェアデバイスを追加するときのガイドライン

コンピューターをセットアップし、初回セットアップを完了した後、ソフトウェアプログラムまたはハードウェアデバイスを追加することもできます。以下の重要なガイドラインをお読みください。

- 追加する前に、Microsoft の [システム復元] プログラムを使って復元ポイントを作成します。復元ポイントは、コンピューター設定のスナップショットです。[システムの復元] を利用することにより、安定した設定を確保できていることとなります。
- コンピューターに対応しているソフトウェアの選択：新しいソフトウェアが対応しているオペレーティングシステム、メモリ、その他の要件を確認します。
- ソフトウェアの製造販売元が提供している説明に沿って操作し、新しいソフトウェアをインストールします。解決できない点がある場合は、製造販売元の説明書またはサポート窓口で確認してください。
- ウィルス対策ソフトウェアの場合は、既存のソフトウェアプログラムをアンインストールした後、再インストールまたは新しいウィルス対策ソフトウェアのインストールを実行します。

---

注：ライセンスのあるオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。不正にコピーされたソフトウェアをインストールすることは違法行為であり、不安定な動作またはコンピューターのウイルス感染を招く危険性があります。

---

# 古いコンピューターから新しいコンピューターへの ファイルおよび設定の転送

CD、DVD、メモリスティック、パーソナル・メディア・ドライブなどのメディアを使用するか、または Windows® 転送ツールケーブルを使用して、古いコンピューターから新しいコンピューターにファイルをコピーすることができます。ファイルの転送、および Web ブラウザーのお気に入りやアドレス帳などの特定の設定のコピーを行うには、Windows 7に含まれている Windows 転送ツールソフトウェアを使用します。

Windows 転送ツールソフトウェアでは、ファイルおよび設定を、記憶装置にコピーするか、または新しいコンピューターに接続された転送ツールケーブルを介してコピーすることができます。転送ツールケーブルは、2 台のコンピューターを接続して、Windows 転送ツールソフトウェアとともに使用するために特別に設計された USB ケーブルです。(このケーブルは別売です。) 標準の USB ケーブルは使用できません。

ファイルおよび設定を転送するには、以下の手順で操作します。

- 1 **【スタート】** ボタンをクリックします。
- 2 **[ 検索の開始 ]** ボックスに「Windows 転送ツール」と入力して **[Windows 転送ツール]** をクリックします。
- 3 Windows 転送ツールウィザードの画面の説明に沿って操作し、古いコンピューターから新しいコンピューターにファイルを転送します。

詳しく調べるには、タスクバーにある **【スタート】** ボタン → **【ヘルプとサポート】** の順にクリックし、**[Windows ヘルプとサポート]** のヘルプの検索ボックスに「ファイルの移動」と入力して **[Enter]** キーを押します。25 ページの「**[Windows ヘルプとサポート]** の使用」を参照してください。





# コンピューター固有の機能

## メモリカードリーダーの使用

(一部のモデルのみ)

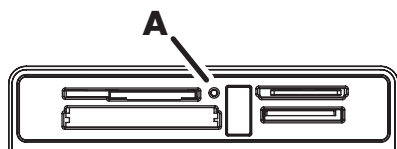
お使いのコンピューターによっては、マルチフォーマット対応のメモリカードリーダー（一部のモデルのみ）が装備されている場合があります。デジタルカメラおよびその他のデジタル画像デバイスは、デジタル画像ファイルの保存にメモリカードまたはメディアを使用します。メモリカードリーダーは、さまざまな種類のメモリカードおよび IBM Microdrive に読み書きすることができます。

- カードリーダーには、コンピューター前面から直接アクセスできます。カードリーダーには、メディアを収容する 2 個または 4 個の横向きのカードスロットがあります。
- 1 つ以上のカードスロットにメディアを挿入し、各メディアを個別に使用することができます。各スロットには、一度に 1 つのメディアのみ取り付けられます。
- 各カードスロットには、固有のドライブ文字とアイコンがあります。メディアを挿入すると、表示される名前がメディアのタイトルに変わる可能性があります（タイトルが使用可能な場合）。
- メディアを挿入すると、[ハードウェアの安全な取り外し] ウィンドウが表示される可能性があります。このウィンドウが表示された場合、または、間違えてこのウィンドウを開いてしまった場合は、[閉じる] をクリックします。



**注意：USB 大容量記憶装置が選択された状態では、[ハードウェアの安全な取り外し] ウィンドウで [停止] をクリックしないでください。これを実行した場合、メモリカードリーダーがオペレーティングシステムから認識されなくなり、メモリカードリーダーを再び表示するためにコンピューターを再起動する必要があります。**

## メモ리카ードリーダー



※カードリーダーの形状や動作ランプの位置はモデルにより異なります。

動作ランプ (A) が点滅している場合は、コンピューターがメモ리카ードにアクセスして読み取りまたは書き込みを行っていることを示します。

メモ리카ードリーダーを使用するには、以下の手順で操作します。

- 1 メディアをカードスロットに完全に挿入します。  
メモ리카ードリーダーの動作ランプ (A) が点灯し、コンピューターが自動的にメディアを検出します。

---

注：メディアを正しく挿入する必要があります。メディアの角が切れている方向に注意してください。詳しくは、[Windows ヘルプとサポート] を開くか、またはサポート Web サイトを参照してください (25 ページの「詳細情報の参照」を参照)。また、以下の点にも注意してください。

- CompactFlash および Microdrive メディアは、誤った方向で挿入できない形になっています。このメディアの端子側をスロットに向けて挿入します。
- CF Ultra/III などの一部のメモ리카ードは、コンピューターに付属のメモ리카ードリーダーに対応していません。
- メモ리카ードリーダーで SmartMedia と xD メディアを同時に使用しないでください。最初に挿入されたメディアだけがリーダーに認識されます。

- 2 ファイルにアクセスするプログラムを選択します。メディアにファイルをコピーしたり、メディアからファイルをコピーしたりすることができます。

または

[ 自動再生 ] ウィンドウが開かない場合、タスクバーにある [ スタート ] ボタン → [ コンピューター ] の順にクリックしてから、[ メモリカード ] アイコンをダブルクリックし、メディア上のファイルを表示します。メディアにファイルをコピーしたり、メディアからファイルをコピーしたりすることができます。

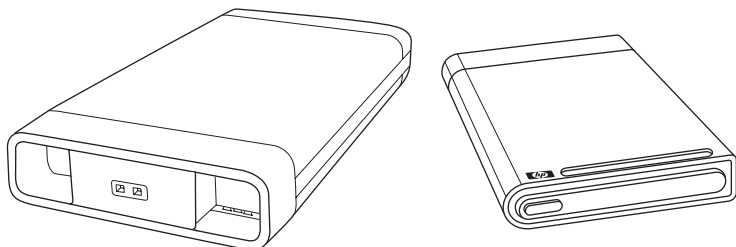
- 3 終了後、ドライブアイコンを右クリックして [ 取り出し ] をクリックし、メモ리카ードリーダーの動作ランプが点滅ではなく点灯または消灯していることを確認してから、メディアを取り出します。



注意：動作ランプの点滅時にメディアを取り出さないでください。これを行うと、データが失われる可能性があります。

# HP パーソナル・メディア・ドライブおよび HP ポケット・メディア・ドライブの使用

HP パーソナル・メディア・ドライブおよび HP ポケット・メディア・ドライブ (HP Media Drive) は、内部または外部の USB ハードディスクドライブとして使用できます。これらは、迅速および容易にストレージ容量を増大し、デジタル写真、音楽、ビデオ、およびその他の重要なファイルを転送できるように設計されています。HP Media Drive を使用して、コンピューターのその他のドライブをバックアップすることもできます。



---

注：HP パーソナル・メディア・ドライブおよび HP ポケット・メディア・ドライブベイは、一部のモデルにのみ付属しています。ドライブは 2 つとも別売です。

---

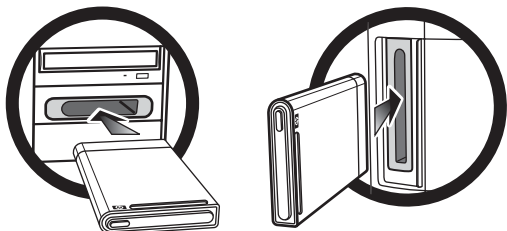
HP Media Drive は、以下のことができるように設計されています。

- USB ポートがあるコンピューターと連携する。
- デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、および MP3 プレーヤーからの大きなメディアファイルや個人用のファイルを格納する。
- コンピューター間で、迅速にファイルを転送する。
- メディアファイルを再生する。
- ファイルをバックアップする。システムのバックアップを実行し、データのセキュリティを向上します。

Windows Media Center での HP Media Drive の使用について詳しくは、HP サポート Web サイト <http://www.hp.com/support/> にある説明書を参照してください。

## ドライブの接続

HP Media Drive は、USB ケーブルを使用して接続された外部ドライブとして、ほとんどのコンピュータとの接続が可能で、さらに、専用内蔵ベイをもつ HP コンピューターに挿入することもできます。これらのコンピュータには、内部の USB コネクタを使用してドライブに接続するドライブベイが装備されています。ドライブは、コンピュータの電源を切らずに、容易にハードディスクドライブベイに挿入したり、そこから取り出したりできます。これは、ウォームスワップとも呼ばれます。



ドライブは、アクティブな USB ポートに差し込まれると、電源が入ります。ドライブを接続した状態でコンピュータの電源を入れると、自動的にドライブの電源が入ります。ドライブの USB ケーブルが差し込まれていないか、または、コンピュータからの USB 電源が入っていない場合、ドライブの電源は自動的に切れます。コンピュータがスリープモード（省電力状態）のときは、ドライブの電源は入ったままになっています。

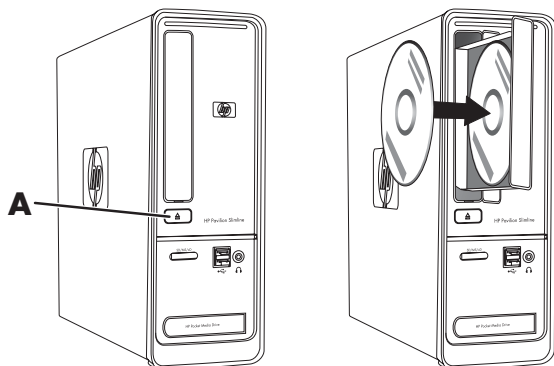


**警告：HP Media Drive** をベイに挿入した状態、または、コンピュータの **USB** ポートに接続した状態でコンピュータを移動しないでください。ドライブに損傷を与えたり、データが失われたりする可能性があります。

## 縦向き CD/DVD ドライブの使用

(一部のモデルのみ)

お使いのコンピュータによっては、オプティカルドライブが縦向きに取り付けられている場合があります。ドライブのドアの上または近くにある取り出しボタン (A) を押して CD/DVD トレイを開きます。標準サイズのディスクを、ラベル面を外側にしてトレイに置き、トレイの前面を押してトレイを閉じます。(ボタンの位置、形状はモデルによって異なります。)



# LightScribe テクノロジーの使用

(一部のモデルのみ)

## LightScribe とは

LightScribe は、特殊なディスクドライブ、特殊なメディア（書き込み可能な LightScribe CD または DVD）、およびラベル作成ソフトウェアを使用して、ディスクに直接ラベルを書き込むことのできる革新的なテクノロジーです。LightScribe 対応の CD または DVD ドライブでは、ドライブ内でレーザーを使用して、ディスクのラベル面の薄い塗料の層にラベルを書き込みます。インクがしみてきたり紙がめくれ上がったりすることも、接着剤がはがれることもありません。

## LightScribe の要件

LightScribe でラベルを書き込むには、以下の 3 つが必要です。

- LightScribe 対応のオプティカルドライブ（一部のモデルのみ）。LightScribe のロゴが付いています。
- LightScribe 対応のラベリングソフトウェア
- 書き込み可能な LightScribe ディスク（別売）



## CyberLink LabelPrint による LightScribe ラベルの作成

ディスクへのデータ、音楽および動画の書き込みは、ラベルを書き込む前でも後でもかまいません。

LightScribe ラベルの作成について調べるには、以下の操作を行います。

- 1 【スタート】ボタン→【ヘルプとサポート】の順にクリックします。
- 2 [Windows ヘルプとサポート] のヘルプの検索ボックスに「LightScribe」と入力して [Enter] キーを押します。

# リモコンの使用

(一部のモデルのみ)

---

注：リモコンには必ずアルカリ電池を使用してください。

---

リモコンを使用して、Windows Media Center を開き、テレビ放送を見たり、テレビ番組の録画や再生を行ったり、音楽、映画、動画を再生したりできます。

Windows Media Center を開くには、リモコンをコンピューターの前面にあるリモートコントロールセンサーに向けて、リモコンの Windows Media Center の [ スタート ] ボタンを押します。



または



リモコンを使用するには、リモコンをリモートセンサーに向けて操作します。リモコンとセンサーが 8 m 以上離れると、リモコン操作は機能しません。リモコンを向ける角度がリモートセンサーの中心から 22.5° (合計 45°) の範囲を超えると、リモコン操作は機能しません。

---

注：明るい光がセンサーに直接当たっていると、リモコン操作の妨げになる場合があります。

---

## 詳細情報の参照

### [Windows ヘルプとサポート ] の使用

(一部のモデルのみ)

お使いのコンピューターに関する情報は、[Windows ヘルプとサポート ] で参照できます。ここで、最新のドライバーへのリンクや、サポート窓口のアクセス、一般的な質問に関する情報の検索が可能です。

[Windows ヘルプとサポート ] を開くには、以下の手順で操作します。


- キーボードのヘルプボタン (疑問符マークが付いています) を押します (一部のモデルのみ)。

または

- [スタート] ボタン→[ヘルプとサポート ] の順にクリックします。

### サポート Web サイトへのアクセス

お使いのコンピューターに関する情報を検索するには、インターネットを使用して、『サポートガイド』に記載されているサポート Web サイトのアドレスにアクセスするか、または以下の手順で操作します。

- 1 Web ブラウザーで <http://www.hp.com/support/> に移動します。
- 2 お住まいの国または地域、および言語を選択します。
- 3 [サポート & 問題解決情報を表示する ] にチェックを入れます。
- 4 お使いのコンピューターのモデル番号を入力して、[ 検索開始 ]  をクリックします。表示する項目をクリックします。

### Web での製品マニュアルの検索

インターネットを使用してサポート Web サイトにアクセスし、お使いのコンピューターの製品マニュアルを検索できます。

- 1 前の作業の手順に沿って、サポート Web サイトに移動し、モデル番号を検索します。
- 2 [製品マニュアル] をクリックします。
- 3 希望するマニュアルを見つけて、次のどちらかを行います。
  - タイトルをクリックして、Adobe® Reader® でファイルを表示します (お使いのコンピューターにインストールされていない場合は、[マニュアルライブラリ] ページからダウンロード可能です)。

または

- タイトルを右クリックして[対象をファイルに保存]をクリックし、ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの名前を指定して (.pdf の拡張子はそのまま) [保存] をクリックします。

## 画面での製品マニュアルの表示

(一部のモデルのみ)

[ユーザガイド]フォルダーから、お使いのコンピューターの製品マニュアルを表示できます。

- 1 [スタート]ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。
- 3 [ユーザガイド]をクリックします。  
表示または使用する項目をクリックします。

---

注：フォルダーにマニュアルのタイトルがない場合、お使いのコンピューターは製品マニュアルがインストールされていないモデルです。

---

## [PC ヘルプとツール] フォルダーの使用

[PC ヘルプとツール] フォルダーには、サポート情報やプログラムなど、コンピューターの使用に役立つものが含まれています。

[PC ヘルプとツール] フォルダーを参照するには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート]ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム]をクリックします。
- 3 [PC ヘルプとツール]をクリックします。

## 安全で快適なコンピューターの利用



警告：操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の正しい姿勢、および健康上 / 作業場の習慣について説明しています。また、重要な電氣的 / 物理的安全基準についての情報も提供しています。

---

コンピューターを使い始める前に、作業を快適に効率よく行えるようにコンピューターおよび作業環境を整えてください。重要な人間工学的情報については、『快適に使用していただくために』を参照してください。

- [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[ユーザガイド]→[快適に使用していただくために]の順に選択します。

または

- Web ブラウザーのアドレスボックスに、  
**<http://www.hp.com/ergo/>**  
と入力し、キーボードの [Enter] キーを押して、表示される画面で [日本語] を選択します。



# トラブルシューティングおよびメンテナンス

このセクションの内容は以下のとおりです。

- **トラブルシューティングの一覧**：以下の「コンピューターに関するトラブルの解決方法」
- **ソフトウェアの修復に関する情報**：44 ページの「ソフトウェアのトラブルシューティング」
- **メンテナンスに関する情報およびガイドライン**：47 ページの「メンテナンス」

詳しくは、25 ページの「詳細情報の参照」に従って [Windows ヘルプとサポート] を参照するか、またはサポート Web サイトにアクセスしてください。

モニターやプリンターなどの周辺機器に固有の問題については、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。

## コンピューターに関するトラブルの解決方法

以下の一覧に、コンピューターの設置、起動、または使用時に発生する可能性があるトラブルを示します。各一覧には、ユーザーが試すことができる解決方法も記載されています。

トラブルシューティングの一覧は、以下の順に記載されています。

- 28 ページの「コンピューターが起動しない」
- 29 ページの「電源」
- 30 ページの「ディスプレイ（モニター）」
- 30 ページの「キーボードおよびマウス（有線）」
- 32 ページの「無線キーボードおよびマウス」
- 34 ページの「オーディオおよびスピーカー」
- 35 ページの「インターネットアクセス」
- 36 ページの「CDドライブおよびDVDドライブ」
- 39 ページの「ビデオ」
- 40 ページの「ハードウェアの取り付け」
- 41 ページの「パフォーマンス」
- 42 ページの「無線デバイス」
- 43 ページの「リモコン」
- 43 ページの「メモ리카ードリーダー」

## コンピューターが起動しない

### トラブル

### 解決方法

コンピューターの電源が入らない、または起動しない

コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します

コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピューター背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、『サポート ガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください

ディスプレイ（モニター）に何も表示されない場合は、モニターが正しく接続されていない可能性があります。モニターコネクターをコンピューターに接続してしっかりと差し込み、電源を入れます。30 ページの「ディスプレイ（モニター）」を参照してください

線間電圧の選択スイッチを、お住まいの国 / 地域に合わせて適切に設定します。または、『サポート ガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください

電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします

コンピューターがロックされ応答していないように見える

Windows の [タスク マネージャー] で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピューターを再起動します

- 1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および [Delete] キーを同時に押します
- 2 [タスク マネージャーの起動] をクリックします
- 3 応答していないプログラムを選択して [タスクの終了] をクリックします

プログラムを終了しても解決しない場合は、以下の手順でコンピューターを再起動します

- 1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および [Delete] キーを同時に押します
- 2 赤い [シャットダウン] ボタンの隣の矢印ボタン → **[再起動]** の順にクリックします

または

- 1 電源ボタンを 5 秒以上押したままにして、コンピューターの電源を切ります
- 2 電源ボタンを押してコンピューターを起動します

ハードドライブのエラーメッセージが表示される

『サポート ガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください

## 電源

トラブル	解決方法
無効なシステムディスク、非システムディスク、またはディスクエラーに関するメッセージが表示される	ドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、キーボードのスペースキーを押します。これで、コンピューターが起動します
電源ボタンを押してもコンピューターの電源が切れない	コンピューターの電源が切れるまで、電源ボタンを押したままにします 電源設定を確認します
コンピューターが自動的にシャットダウンする	コンピューターが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピューターを冷却します コンピューターの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。コンピューターによっては、内部ファンがない場合もあります 49 ページの「コンピューターの通気孔のクリーニング」を参照してください

## ディスプレイ（モニター）

トラブル	解決方法（ここに示されている情報の他に、お使いのモニターに付属の説明書も参照してください）
画面に何も表示されず、モニターの電源ランプが点灯しない	モニター背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします <hr/> モニターの前面にある電源ボタンを押します
画面に何も表示されない	キーボードのスペースキーを押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします <hr/> スリープボタン（一部のモデルのみ）またはキーボードの [Esc] キーを押して、スリープモードから復帰します <hr/> 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます <hr/> モニターのビデオコネクタに曲がっているピンがないかどうかをチェックします <ul style="list-style-type: none"><li>■ 曲がっているピンがある場合は、モニターコネクタケーブルを交換します</li><li>■ 曲がっているピンがない場合は、モニターコネクタケーブルをコンピューターに接続しなおします</li></ul>
画面上の画像が大きすぎる / 小さすぎる、またはぼやけている	Windows 7 でモニターの解像度設定を調整します <ol style="list-style-type: none"><li>1 【スタート】ボタン→【コントロール パネル】の順にクリックします</li><li>2 【デスクトップのカスタマイズ】で【画面の解像度の調整】をクリックします</li><li>3 解像度を必要に応じて調整し、【適用】をクリックします</li></ol>

## キーボードおよびマウス（有線）

トラブル	解決方法
キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピューターに認識されない	マウスを使用してコンピューターの電源を切り、キーボードのケーブルをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターの電源を入れます
有線マウスが動作しない、または検出されない	マウスケーブルをコンピューターから抜き、接続しなおします <hr/> それでもマウスが検出されない場合は、コンピューターの電源を切り、マウスケーブルを抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします

## キーボードおよびマウス（有線）（続き）

トラブル	解決方法
カーソルがマウスの動きに反応しない	<p>キーボードを使用してコンピューターを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 キーボードの [Alt] および [Tab] キーを同時に押し、開いているプログラムに移動します</li><li>2 キーボードの [Ctrl] および [S] キーを同時に押し、表示されているプログラムで行った変更を保存します（ほとんど（すべてではありません）のプログラムで、[Ctrl] + [S] は、保存を行うためのキーボードショートカットです）</li><li>3 開いているすべてのプログラムで、手順 1 ~ 2 を繰り返して変更を保存します</li><li>4 開いているすべてのプログラムで変更を保存したら、キーボードの [Ctrl] および [Esc] キーを同時に押し、Windows の [スタート] メニューを表示します</li><li>5 矢印キーを使用して [シャットダウン] ボタンの隣の矢印ボタンを選択します。[シャットダウン] を選択してキーボードの [Enter] キーを押します</li><li>6 シャットダウンが完了したら、マウスコネクタをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターの電源を入れます</li></ol>
カーソルの反応が遅い、垂直方向または水平方向にしか移動しない、または滑らかに移動しない	<ul style="list-style-type: none"><li>■ オプティカルマウスをクリーニングします。マウス底面の光センサーのレンズを、毛羽立たない柔らかい布で軽く拭きま す（紙は使わないでください）</li><li>■ マウスパッド、白い紙、または反射の少ない面の上でマウス を使用します</li></ul>
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	<p>キーボードの [Num Lock] キーを押して Num Lock ランプを消灯させます。テンキーの矢印キーを使用する場合は、Num Lock ランプが消えている状態にします</p>

## 無線キーボードおよびマウス

### トラブル

### 解決方法

無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない

以下のことを確認します

- 無線キーボードまたは無線マウスをレシーバーの受信範囲内で使用していることを確認します。受信範囲は、通常の使用時は約 10 m、初回セットアップ時または再同期時は 30 cm 以内です
- キーボードおよびマウスの電池を交換します。デバイスを裏返し、マウスの電源をオフにしてから、バッテリーカバーを取り外して古い電池を取り出し、新しいアルカリ電池を挿入してバッテリーカバーを取り付けなおし、マウスの電源をオンにします

注：充電式電池は使用しないでください

- マウスがサスペンドモードに入っていないことを確認します。サスペンドモードは、20 分間操作が行われないと実行されます。マウスを再度有効にするには、マウスの左ボタンをクリックします

無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない  
(続き)

キーボードおよびマウスとレシーバーとを再同期します

以下の図に示されているレシーバー、無線キーボード、および無線マウスは一例であり、お使いのモデルによって異なる場合があります

**重要:**以下の手順では、無線キーボードおよび無線マウスは、レシーバーと同じ高さで、レシーバーから 30 cm 以内で、他のデバイスから干渉を受けない位置に配置します

- 1 コンピューターの USB コネクタからレシーバーを抜いて、接続しなおします。コンピューターモデルによっては、レシーバー専用のコネクタがある場合があります。可能な場合は、コンピューター前面の USB コネクタを使用します
- 2 レシーバーにランプまたは Connect (接続) ボタン (ランプとしても機能します) がある場合があります。レシーバーに Connect ボタン (A) がない場合は、この手順は省略します



ランプが点滅し始めるまで、レシーバーの Connect ボタン (A、ランプとしても機能します) を 5 ~ 10 秒程度押したままにします

## 無線キーボードおよびマウス（続き）

### トラブル

### 解決方法

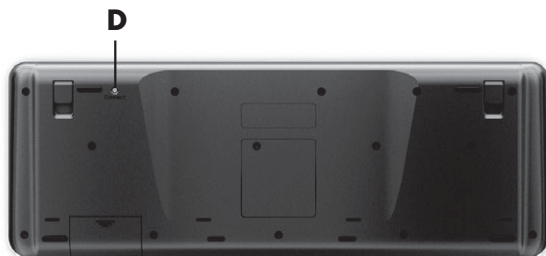
無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない  
(続き)

- マウスの底面で、電源スイッチ **(B)** が On になっていることを確認し、Connect ボタン **(C)** を、レシーバーのランプ **(A)** が点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5 ~ 10 秒程度押したままにします



注：レシーバーの接続セッションは 60 秒でタイムアウトします。接続が確立されており、レシーバーがタイムアウトしていないことを確認するには、マウスを動かして画面上での反応を見ます

- マウスの接続が確立された後、キーボードの接続も確立する場合は、以下の手順に進みます
- お使いのレシーバーに Connect ボタン **(A)** がない場合は、この手順は省略します  
レシーバーの Connect ボタン **(A)** を、ランプが点滅し始めるまで 5 ~ 10 秒程度押したままにします
- キーボードの裏面の Connect ボタン **(D)** を、レシーバーのランプ **(A)** が点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5 ~ 10 秒程度押したままにします



## オーディオおよびスピーカー

トラブル	解決方法
音が出ない	<p>グラフィックスカードの HDMI コネクタ（一部のモデルのみ）を使用してディスプレイ（モニター）をコンピューターに接続する場合、コンピューターの初回セットアップ時にサウンドを聴くには、アナログスピーカーもコンピューターのオーディオライン出力コネクタに接続する必要があります</p> <p>アナログスピーカーの接続方法については、『クイック セットアップ』を参照してください</p> <hr/> <p>キーボードのミュートボタンを押して、ミュート（消音）機能が有効になっているかどうかを確認します</p> <p>または</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 タスクバーの【音量】アイコンを右クリックして、【音量ミキサーを開く】をクリックします 【音量ミキサー】の設定ウィンドウが開きます</li><li>2 プログラムが消音されている場合は、【ミュート】ボタンをクリックして音量を元に戻します</li></ol> <hr/> <p>モニターの内蔵スピーカーを使用している場合は、モニターのフロントパネルの音量ボタンを使用して音量を調節します。フロントパネルのボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示し、オーディオが有効になっていることと、音量が適切に設定されていることを確認します</p> <hr/> <p>音量を上げるには、タスクバーの【音量】アイコンをクリックするか、またはキーボードのボタン類を使用します。ソフトウェアプログラムで音量設定を確認します</p> <hr/> <p>電源付き（アクティブ）スピーカーが接続されていて、その電源がオンになっていることを確認します</p> <hr/> <p>コンピューターの電源を切り、スピーカーのケーブルを抜いて、接続しなおります。スピーカーがライン入力コネクタやヘッドフォンコネクタではなく、オーディオコネクタに接続されていることを確認します</p> <hr/> <p>スリープモードから復帰させるには、スリープボタン（一部のモデルのみ）を押すか、またはキーボードの [Esc] キーを押します</p> <hr/> <p>ヘッドフォンがコンピューター（またはスピーカーシステム）に接続されている場合は、取り外します</p>





## オーディオおよびスピーカー（続き）

トラブル	解決方法
音量が異常に小さい、または十分でない	スピーカーがコンピューター背面のライン出力コネクタ（黄緑色）に接続されていることを確認します。（マルチチャンネルスピーカーの場合は、追加のオーディオコネクタが使用されています。）電源供給機能のないスピーカー（電池や専用の電源コードなど専用の電源がないスピーカー）を使用すると十分な音量が生まれません。電源供給機能のないスピーカーを、電源供給機能付きのスピーカーに交換します

## インターネットアクセス

トラブル	解決方法
インターネットに接続できない	<p>ご利用の ISP にお問い合わせください</p> <p>ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します。お使いのコンピューターには、イーサネットネットワークアダプター（ネットワークインターフェイスカードまたは NIC（LAN ボード）とも呼ばれる）が搭載されている場合があります。ネットワークアダプターはネットワークケーブルを使用してローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されます。電話回線をネットワークアダプターに接続しないでください。また、ネットワークケーブルを電話線に接続しないでください。接続すると、ネットワークアダプターが破損する可能性があります。インターネットへの接続について詳しくは、[Windows ヘルプとサポート] を参照してください（25 ページの「[Windows ヘルプとサポート] の使用」を参照）</p> <p>無線ネットワークの接続ウィザードを実行します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 [スタート] ボタン → [コントロール パネル] の順にクリックします</li><li>2 [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] の順にクリックします</li><li>3 [ネットワークと共有センター] ウィンドウで、[接続またはネットワークのセットアップ] をクリックしてウィザードを開きます</li><li>4 画面の説明に沿って操作します</li></ol>

## インターネットアクセス（続き）

トラブル	解決方法
インターネットに接続できない（続き）	<p>[デバイス マネージャー] を使用して、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく装備されていることを確認します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 [スタート] ボタンをクリックします</li><li>2 [検索の開始] ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して [デバイス マネージャー] をクリックします</li><li>3 [ネットワーク アダプター] をクリックします。お使いの無線 LAN デバイスが一覧に表示されます。無線 LAN デバイスの名前には wireless、wireless LAN、802.11 などの用語が含まれている可能性があります</li><li>4 [スタート] ボタンをクリックします</li><li>5 [検索の開始] ボックスに「ネットワークと共有センター」と入力し、[ネットワークと共有センター] をクリックして [ネットワークと共有センター] ウィンドウを開きます</li><li>6 [ネットワークに接続] をクリックし、画面の説明に沿って操作します</li></ol> <hr/> <p>お使いのシステムにアンテナが外付けされている場合は、アンテナを動かしてみます。アンテナが内蔵されている場合は、コンピューター本体を動かしてみます</p> <hr/> <p>後でもう一度接続してみるか、またはご利用の ISP に問い合わせます</p>
インターネットプログラムが自動的に起動しない	ご利用の ISP にログインしてから、必要なプログラムを起動してみます

## CD ドライブおよび DVD ドライブ

トラブル	解決方法
CD ドライブまたは DVD ドライブがディスクを読み込まない、または起動に時間がかかる	<p>ディスクが、ラベルの面を外側にしてトレイの中心に置かれていることを確認します</p> <hr/> <p>ドライブがメディアの種類を判断するまで、少なくとも 30 秒待ちます</p> <hr/> <p>ディスククリーニングキットを使用してディスクをクリーニングします。このキットは、一般のコンピューター製品販売店で入手できます</p> <hr/> <p>ドライバーが破損しているか、古くなっている可能性があります。ドライバーの復元または更新について詳しくは、44 ページの「ドライバーの更新」を参照してください</p>

## CD ドライブおよび DVD ドライブ（続き）

トラブル	解決方法
CD または DVD を取り出せない	<p>コンピューターの電源を入れ、ドライブの近くにある取り出しボタンを押して、トレイを開きます</p> <p>取り出しボタンそのものに問題がある可能性がある場合は、以下の手順で操作します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 [スタート]ボタン→[コンピューター]の順にクリックします</li><li>2 開きたい CD ドライブまたは DVD ドライブを右クリックします</li><li>3 メニューから [取り出し] を選択します</li></ol>
8 cm ディスクがコンピュータ内で下に落ちる	<p>ディスクを縦向きに挿入するプレーヤーでは、標準以外のディスクを再生できません</p> <p>トレイが縦向きに取り付けられている CD/DVD ドライブでは、標準サイズのディスクを、ラベル面を外側にして、ドライブのトレイに垂直に収めます。縦向きドライブのトレイで 8 cm ディスクを使用するには、市販のアダプターをご使用ください</p> <p>22 ページの「縦向きの CD/DVD ドライブの使用」を参照してください</p>
ディスクを作成（記録）できない	<p>ディスクが、ラベルの面を外側にしてトレイの中心に置かれていることを確認します</p> <p>ドライブに対応した種類のディスク（メディア）を使用していることを確認します。別の製造販売元のディスクを試してみてください</p> <p>清潔で、破損していないディスクを使用します。書き込みセッション中に書き込みが停止した場合、ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを使用してください</p> <p>書き込むファイルの種類に対応しているディスクを使用します</p> <p>CD-R ディスクを使用する時は、音楽を書き込む場合はディスクが空であること、またデータを書き込む場合は、ディスクが空または付加可能（データファイルを追加する領域がある）であることを確認します</p> <p>ディスクのコピーを作成する場合は、適切な種類のディスクを使用していることを確認します。書き込みプログラムによっては、ソースと同じ種類のディスクにしか書き込めない場合があります。たとえば、DVD を書き込めるのは DVD+R/-R ディスクまたは DVD+RW/-RW ディスクのみ、CD を書き込めるのは CD-R ディスクまたは CD-RW ディスクのみです</p> <p>ディスクを適切なドライブに挿入し、CD または DVD 書き込みソフトウェアで同じドライブが指定されていることを確認します</p>

## CD ドライブおよび DVD ドライブ（続き）

トラブル	解決方法
ディスクを作成（記録）できない（続き）	<p data-bbox="333 175 984 228">可能な場合は、書き込みを実行するドライブの書き込み速度を低く設定します</p> <hr/> <p data-bbox="333 250 984 358">トラックのサイズがディスクの使用可能領域より大きい場合、書き込みソフトウェアを使用してトラックを追加できない場合があります。ファイルをディスクに書き込む前に、リストから1つまたは複数のトラックを削除して、領域を確保することができます</p> <hr/> <p data-bbox="333 380 984 433">書き込みを開始する前に、すべてのソフトウェアプログラムおよびウィンドウを閉じます</p> <hr/> <p data-bbox="333 454 984 508">ハードドライブ上に、コンテンツの一時コピーを格納するための十分な領域があることを確認します</p> <p data-bbox="333 516 984 602">【スタート】ボタン→【コンピューター】の順にクリックします。ハードドライブを右クリックし、【プロパティ】を選択して使用可能な領域を表示します</p> <hr/> <p data-bbox="333 623 984 709">ネットワーク上で作業している場合は、まずネットワークからハードドライブにファイルをコピーして、その後でディスクに書き込みます</p> <hr/> <p data-bbox="333 721 984 774">すべてのプログラムおよびウィンドウを閉じ、コンピューターを再起動します</p>
家庭用のDVDプレーヤーでDVDの動画を再生できない	<p data-bbox="333 802 984 946">データファイルとして DVD に書き込まれたビデオファイルは、DVD プレーヤーでは再生できません。映像を適切に再生できるようにするには、ビデオ書き込みプログラムを使用します。ビデオファイルによっては、コンピューターで再生できても、家庭用の DVD ビデオプレーヤーでは再生できない場合があります</p>

## ビデオ

トラブル	解決方法
再生されないビデオファイルがある	ファイルが破損しているか、形式がサポートされていない可能性があります。ファイルをビデオエディターで開いてから、サポートされている形式でファイルを保存しなおします
特定のビデオファイルを再生しようとする、コーデックに関するエラーメッセージが表示される	Windows Media Player でファイルを開きます。Windows Media Player がコーデックを自動的にダウンロードするように設定されていることを確認します <ul style="list-style-type: none"><li>■ 適切なコーデックを入手できる場合は、ファイルが再生されます。コーデックファイルをダウンロードするには、インターネットに接続している必要があります</li><li>■ 適切なコーデックを入手できない場合は、Windows Media Player の更新が利用可能かどうかを確認します</li></ul> 詳しくは、Windows Media Player のヘルプを開き、「コーデック」を検索してください
[ ビデオの再生に必要なファイルが見つからないか、壊れています ] というエラーメッセージが表示される	<ol style="list-style-type: none"><li>1 [ スタート ] ボタンをクリックします</li><li>2 [ 検索の開始 ] ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して [ デバイス マネージャー ] をクリックし、[ デバイス マネージャー ] ウィンドウを開きます</li><li>3 [ サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー ] の隣のプラス記号 (+) をクリックします</li><li>4 <b>TV</b> チューナーの項目 (一部のモデルのみ) を右クリックし、[ ドライバー ソフトウェアの更新 ] をクリックします</li><li>5 [ 自動的に更新されたドライバー ソフトウェアを検索します ] を選択します</li><li>6 説明に沿って操作して、ドライバーを更新します</li><li>7 要求された場合は、コンピューターを再起動します</li></ol>

## ハードウェアの取り付け

トラブル	解決方法
新しいデバイスが、システムの一部として認識されない	<p>デバイスに付属の CD からデバイスドライバーをインストールするか、デバイスの製造販売元の Web サイトからドライバーをダウンロードおよびインストールします</p> <p>Windows 7 用に更新されたドライバーが必要な場合があります。更新についてはデバイスの製造販売元に直接お問い合わせください</p> <p>HP の周辺機器については、HP の Web サイト <a href="http://www.hp.com/support/">http://www.hp.com/support/</a> をご覧ください</p>
	<p>すべてのケーブルがしっかりと適切に接続されており、ケーブルのピンが曲がっていないことを確認します</p>
	<p>コンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源を入れてからコンピューターの電源を入れることで、デバイスをコンピューターに認識させます</p>
	<p>コンピューターを再起動し、説明に沿って操作してデバイスを認識させます</p>
	<p>オペレーティングシステムで新しいデバイスの自動設定を無効にし、リソースの競合を引き起こさない基本的な構成を選択します</p> <p>デバイスを再構成するか、または無効にしてリソースの競合を解決することもできます</p>
新しいデバイスが動作しない	<p>デバイスドライバーをインストールまたはアンインストールするには、管理者権限のあるアカウントでログインする必要があります。ユーザーを切り替える必要がある場合は、【スタート】ボタン → 【シャットダウン】ボタンの隣の矢印ボタン → 【ユーザーの切り替え】の順にクリックします。管理者権限を持つユーザーを選択します</p>

## ハードウェアの取り付け（続き）

トラブル	解決方法
新しいデバイスを取り付けたら、デバイスが動作しなくなった	<p>デバイスの競合を解消するには、デバイスのどれかを無効にするか、または古いデバイスドライバーをアンインストールする必要があります</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 <b>【スタート】</b> ボタンをクリックします</li><li>2 <b> [ 検索の開始 ]</b> ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して<b> [ デバイス マネージャー ]</b> をクリックし、<b> [ デバイス マネージャー ]</b> ウィンドウを開きます</li><li>3 トラブルが発生しているデバイスの隣のプラス記号 (+) をクリックし、デバイスのアイコンの近くに黄色い円で囲まれた感嘆符があるかどうかを確認します。感嘆符は、デバイスの競合が発生しているか、またはデバイスで問題が発生していることを示します。感嘆符は、デバイスが正常に動作していない時でも、表示されない場合があります</li><li>4 ハードウェアデバイスを取り外してあるのに、そのデバイスドライバーが<b> [ デバイス マネージャー ]</b> に表示されている場合、これがデバイスの競合の原因となっている可能性があります。古いドライバーをアンインストールして、新しいデバイスドライバーを正常に動作させるには、デバイスを右クリックして<b> [ アンインストール ]</b> → <b> [OK]</b> の順にクリックします</li><li>5 デバイスの名前を右クリックして<b> [プロパティ]</b> を選択します</li><li>6 <b> [ 全般 ]</b> タブをクリックし、デバイスが有効で正常に動作しているかどうかを確認します。<b> [ トラブルシューティング ]</b> ボタンが表示されている場合はクリックし、<b> [device troubleshooter wizard]</b> (デバイスのトラブルシューティング ウィザード) で画面の説明に沿って操作します</li><li>7 コンピューターを再起動します。<b> [スタート]</b> ボタン→<b> [シャットダウン]</b> ボタンの隣の矢印ボタン→<b> [再起動]</b> の順にクリックします</li></ol>

## パフォーマンス

トラブル	解決方法
コンピューターに表示されるプロセッサ速度が低い	実行中のアプリケーションが最高の処理能力を必要としていないため、プロセッサが自動的に低い速度で実行される場合に発生します
ソフトウェアプログラムおよびファイルの起動や反応に予想以上の時間がかかる	コンピューターに複数のユーザーアカウントを作成してある場合は、他のユーザーがログインしていないことを確認します。一度に複数のユーザーがログインしている場合、システムのリソースがユーザー間で共有されます

## 無線デバイス

トラブル	解決方法
Bluetooth デバイスが機能しない	<p data-bbox="335 186 968 259">デバイスとコンピューターの距離が近すぎたり遠すぎたりせず、適切であることを確認します。適切な距離については、デバイスの説明書を参照してください</p> <hr/> <p data-bbox="335 284 787 308">デバイスを取り外してから取り付けなおします</p> <ol data-bbox="335 324 968 625" style="list-style-type: none"><li data-bbox="335 324 968 381">1 【スタート】ボタン→【コントロール パネル】の順にクリックします</li><li data-bbox="335 381 968 438">2 【ハードウェアとサウンド】→【Bluetooth デバイス】の順にクリックします</li><li data-bbox="335 438 968 479">3 機能していないデバイスを選択して【削除】をクリックします</li><li data-bbox="335 479 968 592">4 【追加】をクリックしてデバイスのリセットボタンを押し、【セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました】チェックボックスにチェックを入れて【次へ】をクリックします</li><li data-bbox="335 592 968 625">5 画面の説明に沿って操作します</li></ol> <hr/> <p data-bbox="335 649 968 755">デバイスの接続が多すぎる可能性があります。デバイスの処理量が少なくなるまで待つか、他のデバイスが検出されないように設定します。検出機能を無効にする方法については、デバイスの説明書を参照してください</p> <hr/> <p data-bbox="335 779 968 852">無線通信を行うその他のデバイス（電子レンジ、コードレス電話、802.11 無線ネットワークなど）が干渉していないことを確認します。機能しないデバイスを他のデバイスから遠ざけてみます</p>



## リモコン

トラブル	解決方法
リモートセンサーが、リモートコントロールからの信号を受信しない（一部のモデルのみ）	<ul style="list-style-type: none"><li>■ リモコンをセンサーに向けて操作していることを確認します</li><li>■ リモコンに新しい電池が入っていることを確認します</li><li>■ USB コネクタを持つ外部センサーの場合は、以下の手順に沿って赤外線接続を有効にしてみます</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>1 [スタート] ボタンをクリックします</li><li>2 [検索の開始] ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して[デバイス マネージャー]をクリックし、[デバイス マネージャー] ウィンドウを開きます</li><li>3 [ユニバーサル シリアル バス コントローラー] の隣のプラス記号 (+) をクリックします</li><li>4 [ユニバーサル シリアル バス コントローラー] の下に[eHome 赤外線レシーバ] と表示されている場合、赤外線レシーバーは Windows 7 に正しく検出されています。表示されていない場合は、次の手順に進みます</li><li>5 コンピューターに接続されているリモートセンサーの USB ケーブルを取り外し、同じ USB コネクタに接続しなおします</li><li>6 リモートセンサー以外のすべての USB デバイスを取り外して、コンピューターを再起動します。[デバイス マネージャー] ウィンドウにリモートセンサーが表示されてから、その他の USB デバイスを接続します</li></ol>

## メモリカードリーダー

トラブル	解決方法
メモリカードリーダーが、メモリカードを読み込めない	<p>使用中（動作中）であることを示すランプが点滅している時は、メモリカードの挿入または取り出しは行わないでください。これを行うと、データが消失したり、カードリーダーが損傷して修復できなくなったりする場合があります</p> <hr/> <p>メモリカードによっては、読み取り / 書き込みスイッチまたはセキュリティスイッチが付いています。データをカードに書き込む前に、カードのスイッチが書き込み可能に設定されていることを確認します</p> <hr/> <p>保管されたデータ量が、メモリカードの記憶可能領域を超えていないことを確認します</p>

## メモリーカードリーダー（続き）

トラブル	解決方法
メモリーカードリーダーが、メモリーカードを読み込めない (続き)	メモリーカードがサポートされている種類（CompactFlash (I、II、および Microdrive)、メモリスティック、メモリスティック PRO、マルチメディアカード、SecureDigital (SD および SDHC) カード、SmartMedia カード、xD ピクチャカードなど）であることを確認します。一部のモデルでは、その他の種類（SDHC (Secure Digital High-Capacity) など）のメモリーカードもサポートしている場合があります
	メモリーカードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します
	メモリーカードの接続部分に、穴や金属端子を塞いでいる汚れやごみがないかどうかをチェックします。軽く湿らせた、毛羽立たない柔らかい布で端子をクリーニングします。必要に応じて、メモリーカードを交換します

## ソフトウェアのトラブルシューティング

お使いのコンピューターでは、通常の動作中、オペレーティングシステムおよびインストールされたソフトウェアプログラムが使用されます。ソフトウェアが原因でコンピューターが正常に動作しない、または停止する場合、その問題を修復できることがあります。

ソフトウェアの修復には、コンピューターの再起動だけで済む簡単なものもあれば、ハードドライブ上のファイルからシステムの復元を実行する必要があるものもあります。

### ソフトウェアの修復の概要

ソフトウェアの問題を解決する最も効率的な方法は、コンピューターを再起動するか、コンピューターの電源を完全に切ってから電源を入れなおすことです。これで解決しない場合は、以下の方法でソフトウェアのトラブルからコンピューターを修復します。

- ドライバーの更新（次のセクション「ドライバーの更新」を参照）
- Microsoft の [ システムの復元 ] (45 ページの「Microsoft の [ システムの復元 ]」を参照) : コンピューターをソフトウェアの問題が発生する以前に使用していた構成に復元します。
- ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール (46 ページの「ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール」を参照) : 工場出荷時にインストールされたソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーを、[ リカバリ マネージャ ] プログラムを使用して再インストールします。
- Microsoft の [ システムの復元 ] (49 ページの「システムリカバリ」を参照) : ハードドライブの内容（作成したデータファイルを含む）を消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。

### ドライバーの更新

ドライバーはプリンター、ハードドライブ、マウス、キーボードなどの接続されたデバイスとコンピューターのやり取りを可能にするソフトウェアプログラムです。

ドライバーを更新するには、また、新しいドライバーで問題が解決されない場合にドライバーの以前のバージョンに戻すには、以下の手順で操作します。

- 1 **[スタート]** ボタンをクリックします。
- 2 **[検索の開始]** ボックスに「デバイス マネージャー」と入力して**[デバイス マネージャー]** をクリックし、**[デバイス マネージャー]** ウィンドウを開きます。
- 3 プラス記号 (+) をクリックして、更新または元に戻すデバイスを展開します（たとえば、DVD/CD-ROM ドライブなど）。
- 4 目的の項目をダブルクリックします（たとえば、**HP DVD Writer 640b** など）。
- 5 **[ドライバー]** タブをクリックします。
- 6 ドライバーを更新する場合は、**[ドライバーの更新]** をクリックし、画面の説明に沿って操作します。  
または  
ドライバーを以前のバージョンに戻す場合は、**[ドライバーを元に戻す]** をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

## Microsoft の [ システムの復元 ]

Windows 7 には、コンピューターの構成を、現在のソフトウェアの問題が発生する以前に使用していた構成に復元できる機能が含まれています。この機能は、その時点のコンピューターの設定を記録する「復元ポイント」を作成することで、実行されます。

新しいプログラムがインストールされる時、インストール処理の前に、オペレーティングシステムにより自動的に復元ポイントが作成されます。復元ポイントは手動で設定することもできます。

コンピューター上のソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[ システムの復元 ] を使用して、コンピューターを以前の復元ポイントに戻します。

---

注：システムリカバリプログラムを使用する前に、必ずシステムの復元を実行してください。

---

システムの復元を行うには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 **[スタート]** ボタンをクリックして**[コンピューター]** を右クリックし、**[プロパティ]** をクリックします。
- 3 **[システムの保護]** → **[システムの復元]** の順にクリックします。**[ユーザー アカウント制御]** が表示されます。**[続行]** をクリックします。**[次へ]** をクリックします。
- 4 画面の説明に沿って操作します。

手動で復元ポイントを追加するには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 **[スタート]** ボタンをクリックして**[コンピューター]** を右クリックし、**[プロパティ]** をクリックします。
- 3 **[システムの保護]** をクリックします。**[ユーザー アカウント制御]** が表示されます。**[続行]** をクリックします。
- 4 **[保護設定]** で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
- 5 **[作成]** をクリックします。
- 6 画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェアの復元ポイントについて詳しく調べるには、以下の手順で操作します。

- 1 **【スタート】ボタン**→**【ヘルプとサポート】**の順にクリックします。
- 2 ヘルプの検索ボックスに「システムの復元」と入力し、**[Enter]**キーを押します。

## ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール

工場出荷時にインストールされたソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーが破損した場合は、**【リカバリ マネージャ】**プログラムを使用してそれらを再インストールできます（一部のモデルのみ）。

---

**注：**コンピューターに同梱されている CD または DVD からインストールしたソフトウェアプログラムを再インストールする場合に、**【リカバリ マネージャ】**プログラムを使用しないでください。これらのプログラムは CD または DVD から直接再インストールしてください。

---

プログラムをアンインストールする前に、再インストールが可能であることを確認してください。もともとインストールした場所（ディスクやインターネットなど）で現在も利用できることを確認します。または、対象のプログラムが、**【リカバリ マネージャ】**から再インストールできるプログラムの一覧に含まれていることを確認します。

**【リカバリ マネージャ】**でインストール可能なプログラムの一覧を確認するには、以下の手順で操作します。

- 1 **【スタート】ボタン**→**【すべてのプログラム】**→**【リカバリ マネージャ】**→**【リカバリ マネージャ】**の順にクリックします。**【ユーザー アカウント制御】**が表示されます。**【続行】**をクリックします。
- 2 **【ソフトウェア プログラムの再インストール】**をクリックします。
- 3 **【ソフトウェア プログラムの再インストールへようこそ】**画面で**【次へ】**をクリックします。プログラムの一覧が表示されます。該当するプログラムがあるか確認します。

プログラムをアンインストールするには、以下の手順で操作します。

- 1 すべてのソフトウェアプログラムおよびフォルダーを閉じます。
- 2 破損したプログラムをアンインストールします。
  - a **【スタート】ボタン**→**【コントロール パネル】**の順にクリックします。
  - b **【プログラム】**で**【プログラムのアンインストール】**をクリックします。
  - c 削除するプログラムを選択し、**【アンインストール】**をクリックします
  - d アンインストールの手順を続行する場合は**【はい】**をクリックします。

**【リカバリ マネージャ】**を使用してプログラムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

- 1 **【スタート】ボタン**→**【すべてのプログラム】**→**【リカバリ マネージャ】**→**【リカバリ マネージャ】**の順にクリックします。**【ユーザー アカウント制御】**が表示されます。**【続行】**をクリックします。
- 2 **【ソフトウェア プログラムの再インストール】**をクリックします。
- 3 **【ソフトウェア プログラムの再インストールへようこそ】**画面で**【次へ】**をクリックします。
- 4 インストールするプログラムを選択して**【次へ】**をクリックし、画面の説明に沿って操作します。
- 5 再インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。

---

注：最後の手順を省略しないでください。ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバのリカバリが完了したら、コンピューターを再起動する必要があります。

---

## メンテナンス

このセクションで説明する作業を行うことで、お使いのコンピューターのトラブルを防止できます。また、将来トラブルが発生した場合に、重要な情報を簡単に復元できます。

### メンテナンス作業

単純なメンテナンスを実行し、コンピューターが最高のパフォーマンスで動作するようにすることが重要です。

#### 毎週

ソフトウェアのクリーンアップ [ディスククリーンアップ]、または他社製の安全なクリーニングツールを使用して、システムの動作を低下させる原因となる、蓄積された不要なファイルや一時ファイルを削除します。また、不要になったプログラムを確認して、それらをアンインストールします

デフラグ ディスクデフラグプログラムを実行して、ハードディスクを最適な状態に保ち、システムパフォーマンスを向上させます。この作業を頻繁に実行しても、システムに害を与えることはありません

ウィルススキャン 完全なウィルススキャンを毎週実行することにより、知らないうちに入り込む可能性があるウィルスをキャッチできます。ほとんどのウィルス対策製品には、これを自動的に追跡するスケジュール機能があります

#### 毎月

ハードウェアのクリーンアップ コンピューターの内部および外部をすべてクリーニングします

ソフトウェアの更新 [Windows Update] を使用して、オペレーティングシステムのバグを修正し、パフォーマンスを向上させることができます。また、ハードウェアのドライバ更新プログラム、および使用しているプログラムの新しいバージョンの確認も行います

ハードディスクの診断 ハードディスクの障害を、被害が出る前に検出できる場合があります

#### 毎年

システムリカバリ コンピューターの使用方法にもよりますが、システムは、いつかは故障する可能性があります。システムリカバリプログラムを使用して、インストールされていた Windows オペレーティングシステムをいったん完全に消去し、初めてシステムの電源を入れたときの元の構成に復元することができます。事前に必ずバックアップを作成します。リカバリを実行する前に、49 ページの「システムリカバリ」で詳しい説明を参照してください

## データバックアップディスクの作成

お使いのコンピューターにインストールされている DVD 作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メールメッセージ、および Web サイトのお気に入りなどの重要な情報のバックアップディスクを作成できます。また、データを外部ハードドライブに移動することもできます。バックアップディスクへのデータの書き込みには、書き込み検証機能のあるソフトウェアを使用してください。この検証機能とは、ハードディスク上のデータとディスクにコピーされたデータを比較し、正確なコピーであるかどうかを確認するものです。ディスク作成ソフトウェアの種類によっては、この機能を手動で有効にする必要があります。

ディスクの作成で問題が発生した場合は、別の種類または別の製造販売元のメディアで試してみます。また、Windows エクスプローラーを使用してファイルを表示し、内容がコピーされていることの確認も行います。Windows エクスプローラーを開くには、[ スタート ] ボタンを右クリックし、[ エクスプローラー ] をクリックします。

## システムリカバリディスクの作成

これは、お使いのコンピューターが正常に動作している時に 1 回だけ実行する必要がある作業です。将来、コンピューターにトラブルが発生した場合に、作成したシステムリカバリディスクを使用して工場出荷時の設定に復元できます。詳しくは、50 ページの「リカバリディスクの作成」を参照してください。

## 埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護

お使いのコンピューターシステムを埃、汚れ、および熱から守ることで、より長く使用できます。埃、ペットの毛やその他のごみが積もることで、部品が過熱したり、キーボードやマウスの動きが滑らかでなく効率が悪くなったりします。埃やごみが付いていないかどうか、システムを 1 か月に 1 回確認し、3 か月に 1 回程度クリーニングしてください。

## コンピューターおよびモニターのクリーニング

- 1 電源コンセントからコンピューターのプラグを抜き取ります。
- 2 電源コンセントからモニターのプラグを抜き取ります。
- 3 乾いた清潔な布で、コンピューターの表面およびモニターの埃を取り除きます。
- 4 温かい水で軽く湿らせた清潔な布で、コンピューターの表面およびモニターの汚れを拭き取ります。  
モニター画面には水分を付けないでください。

---

注：コンピューターまたはモニターの表面にシールの粘着剤や液体が付いている場合は、毛羽立ちのない布にイソプロピルアルコールまたは消毒用アルコールを付けて拭き取ります。

---

- 5 乾いた清潔な布で、コンピューターおよびモニターの表面の水分を拭き取ります。
- 6 乾いた清潔な布でモニター画面をクリーニングします。よりしっかりとクリーニングする場合は、静電気防止効果のあるスクリーンクリーナーを清潔な布に付けて使用します。

## コンピューターの通気孔のクリーニング

通気孔によりコンピューターおよびモニターが冷却されます。十分な通気を確保するため、電池式の小型掃除機で通気孔をクリーニングしてください。(電池式の掃除機を使用することで、感電を防止できます。)

- 1 コンピューターおよびモニター表面の通気孔に掃除機をかけます。
- 2 コンピューターのコネクタ (USB コネクタ、イーサネットコネクタなど) の内部および周囲に付着したごみを取り除きます。

## キーボードおよびマウスのクリーニング

キーボードのキーをクリーニングする時は、キーや内部のバネが外れないようにするため、電池式の掃除機を「弱」の設定で使用してください。

- 1 キーボードのキーの隙間および縁に掃除機をかけます。
- 2 乾いた清潔な布にイソプロピルアルコールを付けて、キーボードのキーおよびその周囲をクリーニングします。
- 3 洗剤で軽く湿らせた布で、マウスの本体およびコードを拭きます。

## システムリカバリ

システムリカバリでは、ハードドライブの内容を完全に消去し、フォーマットします。これにより、これまでに作成したすべてのデータファイルも削除されます。システムリカバリにより、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーが再インストールされます。ただし、工場出荷時にコンピューターにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピューターに同梱されている CD からインストールしたソフトウェア、およびコンピューター購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

システムリカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

- リカバリイメージ : ハードドライブに格納されているリカバリイメージからシステムリカバリを実行します。リカバリイメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。ハードドライブ上のリカバリイメージからシステムリカバリを実行するには、51 ページの「Windows 7 スタートメニューからのシステムリカバリの開始」を参照してください。

---

注: リカバリイメージは、ハードドライブの、データ保存に使用できない領域を使用します。

---

- リカバリディスク : ハードドライブに格納されているファイルから作成したリカバリディスクのセットから、システムリカバリを実行します。リカバリディスクを作成する方法については、以下の項目を参照してください。

## リカバリディスクの作成

このセクションで説明する手順を実行して、ハードドライブに格納されているリカバリイメージから、リカバリディスクのセットを作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピューターにインストールされていたオペレーティングシステムおよびソフトウェアプログラムのファイルが含まれています。

お使いのコンピューターで作成できるリカバリディスクは1セットのみです。また、作成したリカバリディスクは、お使いのコンピューターでのみ使用できます。

### リカバリディスクの選択

リカバリディスクを作成するには、コンピューターに DVD 書き込みドライブが搭載されている必要があります。

- システムリカバリディスクの作成には、DVD+R または DVD-R の空のメディアを使用します。
- CD、DVD+RW、DVD-RW、DVD+RW DL、DVD-RW DL、DVD+R DL、または DVD-R DL ディスクは、リカバリディスクの作成に使用できません。

リカバリディスクセットを作成する場合は、高品質のディスクを使用してください。リカバリディスク作成プロセスでは、非常に高い基準での検証処理が行われます。「ディスク書き込み時の記録エラー」または「ディスクの検証中にエラーが検出されました」などのエラーメッセージが表示される場合があります。

ディスクに問題があるために、そのディスクを使用できない場合があります。新しいディスクを挿入して再度試すように要求するメッセージが表示されます。ディスクを使用できないことは異常ではありません。

リカバリディスクに使用されるディスクの数は、お使いのコンピューターのモデルによって異なります（通常は1〜3枚です）。リカバリディスク作成プログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます。

この作業は、ディスクに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行する時は、中止した場所から再開されます。

### システムリカバリディスクを作成するには

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 **[スタート] ボタン** → **[すべてのプログラム]** → **[リカバリ マネージャ]** → **[リカバリ ディスクの作成]** の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されます。  
[続行] をクリックします。
- 3 画面の説明に沿って操作します。作成したリカバリディスクにはラベル（リカバリ 1、リカバリ 2 など）を付けます。
- 4 安全な場所に保管してください。

### システムリカバリのオプション

システムリカバリは以下の順序で実行する必要があります。

- 1 ハードドライブを使用して：Windows 7 のスタートメニューから
- 2 ハードドライブを使用して：システムの起動中にキーボードの [F11] キーを押す
- 3 作成したリカバリディスクから
- 4 HP のサポート窓口で購入したリカバリディスクからリカバリディスクを購入するには、<http://welcome.hp.com/country/jp/ja/support.html> にアクセスし、ソフトウェアおよびドライバーのダウンロードページでお使いのコンピューターのモデルを検索します。



## Windows 7 スタートメニューからのシステムリカバリの開始

コンピューターが機能しており、Windows 7 を使用できる場合は、以下の手順でシステムリカバリを実行します。

---

**注：**システムリカバリオプションにより、コンピューターの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

---

- 1 コンピューターの電源を切ります。
- 2 モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
- 3 コンピューターの電源を入れます。
- 4 **[スタート]** ボタン→**[すべてのプログラム]**→**[リカバリ マネージャ]**→**[リカバリ マネージャ]**の順にクリックします。**[ユーザー アカウント制御]**が表示されます。**[続行]**をクリックします。
- 5 **[システム リカバリ]**をクリックします。
- 6 **[はい]**→**[次へ]**の順にクリックします。  
コンピューターが再起動します。

---

**注：**システムのリカバリパーティションが検出されなかった場合、リカバリディスクを導入するよう求められます。ディスクを挿入し、52 ページの「ユーザーが作成したリカバリディスクからのシステムリカバリの開始」の手順 7 に進みます。

---

- 7 **[システム リカバリ]**をクリックします。
- 8 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** ボタン→**[次へ]**の順にクリックします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** ボタン→**[次へ]**の順にクリックします。  
システムリカバリが開始します。システムリカバリが完了したら、**[完了]**をクリックしてコンピューターを再起動します。
- 9 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
- 10 コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
- 11 53 ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

### システム起動中のシステムリカバリの開始

Windows 7 を使用できないが、コンピューターが機能する場合は、以下の手順でシステムリカバリを実行します。

---

**注：**システムリカバリオプションにより、コンピューターの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

---

- 1 コンピューターの電源を切ります。必要であれば、コンピューターの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。
- 2 モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。

- 3 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。
- 4 起動中に HP Invent のロゴが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます」というメッセージが表示されるまで、キーボードの [F11] キーを繰り返し押します。
- 5 **[システム リカバリ]** をクリックします。
- 6 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。  
システムリカバリが開始します。システムリカバリが完了したら、**[完了]** をクリックしてコンピューターを再起動します。
- 7 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
- 8 コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。
- 9 53 ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

#### ユーザーが作成したリカバリディスクからのシステムリカバリの開始

このセクションでは、50 ページの「リカバリディスクの作成」の説明に沿って作成したリカバリディスクからシステムリカバリを実行する手順について説明します。

---

**注：**システムリカバリオプションにより、コンピューターの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

---

リカバリディスクを使用してシステムリカバリを実行するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピューターが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータファイルを DVD にバックアップします。完了したら、ディスクトレイからバックアップディスクを取り出します。



**注意：**ハードドライブ上のすべてのデータが削除されます。バックアップを行わない場合、すべてのデータが失われます。

---

- 2 リカバリディスク #1 を DVD ドライブトレイに挿入し、トレイを閉じます。
- 3 コンピューターが動作している場合は、**[スタート]** ボタン→**[シャットダウン]** ボタンの隣の**矢印ボタン**→**[シャットダウン]** の順にクリックします。  
または  
コンピューターが応答しない場合は、コンピューターの電源が切れるまで、約 5 秒間電源ボタンを押したままにします。
- 4 モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
- 5 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。  
システムリカバリをディスクとハードドライブのどちらから行うかを選択するウィンドウが表示された場合は、ディスクから行うオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 6 **[購入時の状態にコンピュータを復元]** を選択します。
- 7 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、**[ファイルを最初にバックアップしてください]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。それ以外の場合は、**[ファイルをバックアップせずに復元する]** ボタン→**[次へ]** の順にクリックします。

- 8 次のリカバリディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します。
- 9 [リカバリ マネージャ] の処理が完了したら、システムからすべてのリカバリディスクを取り出します。
- 10 **[完了]** をクリックしてコンピューターを再起動します。
- 11 コンピューターが再起動したら、9 ページの「コンピューターを使用する前に」を参照します。

## リカバリ手順実行後の作業

- 1 [Windows セットアップ] 画面の説明に沿ってセットアップ手順を実行します。
- 2 9 ページの「コンピューターを使用する前に」の手順に沿って操作します。

## その他のトラブルシューティング

その他のトラブル解決方法については、以下を参照してください。

### ■ HP Support Assistant

HP Support Assistant は、自動更新、オンボード診断、およびアシスタント機能によりコンピューターのパフォーマンスを維持し、問題をすばやく解決するために役立ちます。

HP Support Assistant を開くには、[スタート] ボタン → [すべてのプログラム] → [HP] → [HP Support Assistant] の順にクリックします。

### ■ Windows 7 のトラブルシューティングツール

Windows 7 には、コンピューターの一般的な問題を自動的に解決できるトラブルシューティングツールが含まれています。Windows 7 のトラブルシューティングツールにアクセスするには、以下の手順で操作します。

- 1 [スタート] ボタン → [コントロール パネル] の順にクリックします。
- 2 [システムとセキュリティ] をクリックします。
- 3 [アクション センター] で [問題の発見と解決] をクリックします。



# 索引

<b>英数字</b>		
CD/DVD ディスクの取り出し	22	
CD/DVD ドライブ、使用	22	
CyberLink LabelPrint		
LightScribe ラベルの作成	23	
HP Media Drive	21	
自動オン / オフ機能	22	
HP ポケット・メディア・ドライブ	21	
LAN (ローカルエリアネットワーク)		
アンテナ	6	
イーサネット LAN の接続	3	
セットアップ	6	
無線 LAN デバイスの接続	6	
LightScribe、LightScribe ディスクラベルの作成	23	
WEP	11	
Windows 7 アップデート	15	
Windows ヘルプとサポート	25	
WPA	11	
<b>あ行</b>		
新しいコンピューターへの情報の転送	17	
アップデート		
Windows 7	15	
システム	15	
安全に関する警告	1, 26	
イーサネットネットワークハブ	3	
インターネットセキュリティ	14	
ウイルス対策、プログラムのインストール	16	
オーディオコネクター		
オーディオライン出力	4	
オーディオライン入力	4	
音量、Windows 7 での調整	12	
<b>か行</b>		
カードリーダー、メモリ	19	
快適な作業	26	
『快適に使用していただくために』	26	
クリーニング	48	
更新		
ドライバー	44	
コネクター		
オーディオライン出力	4	
オーディオライン入力	4	
赤外線出力 (IR OUT)	7	
赤外線入力 (IR IN)	8	
モニター	3	
コンピューター		
クリーニング	48	
コンピューターの電源投入	9	
セットアップ	1	
ファイルの転送	17	
ヘルプとツール	26	
コンピューターの構成の復元	45	
コンピューターの再起動	10	
コンピューターのシャットダウン	10	
コンピューターのセットアップ	1	
コンピューターの電源切断	10	
コンピューターのロック	10	
<b>さ行</b>		
サージ保安器	2	
サポート Web サイト	25	
システムの復元	45	
システムの復元、Microsoft	45	
システムリカバリ	49	
システムリカバリディスク、作成	48, 49	
手根管症候群	26	
スピーカー		
接続	5	
スリープモード	10	
製品マニュアル、画面上	26	
赤外線		
接続、有効	43	
プラスター	7	
レシーバー	8	
ソフトウェアの修復	44	
ソフトウェアプログラム		
CyberLink LabelPrint	23	
再インストール	46	
ソフトウェアプログラムの再インストール	46	
<b>た行</b>		
デジタル画像	19	
電源コネクター	2	
トラブルシューティングの一覧	27	
ドライバー、更新	44	
<b>な行</b>		
ネットワークインターフェイスアダプター	3	

<b>は行</b>		<b>録音レベルの調整</b>	12
ハイパネーションモード	10	無線	
反復運動過多損傷 (RSI)、『快適に使用していた だくために』を参照		LAN 接続	6
バックアップ	48	ネットワークセキュリティ	11
パスワード	13	無線 LAN	6
ヘッドフォン		無線 LAN セキュリティ	11
接続	5	メモリカードリーダー、使用	19
ボタン		メンテナンス作業	47
オフ、「コンピュータの電源切断」を参照		モニター	
取り出し、CD/DVD ドライブ	22	コネクタ	3
<b>ま行</b>		<b>ら行</b>	
マイク		[リカバリ マネージャ]	46
Windows 7 での選択	12	リモコン	24
接続	5	録音レベル、調整	12



## 環境への配慮

ご購入ありがとうございます。HP では品質、パフォーマンス、使いやすさに優れたコンピューターの開発に努めています。さらにこのコンピューターは環境に配慮して設計されています。いっそう環境を保護するために、ぜひご協力ください。

### お客様にできること

- 古いコンピューターをリサイクルする
- スクリーンセーバーを使わない
- 電源設定を有効にしておく

HP では、使用済みの HP 製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HP のリサイクルプログラムについては、HP の Web サイト (<http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/household.asp>) を参照してください。

スクリーンセーバーは、コンピューターがスリープ状態に入ることを阻止するため、電力を余計に消費してしまう場合があります。また、LCD のバックライトが点灯している時間が増えるため、モニターの寿命が短くなる可能性があります。

コンピューターに搭載されている電源管理ツールは、パフォーマンスに影響することなく電力の消費を最小限に抑えるように設定されています。この設定は有効のままにしておいてください。

### HP が行ったこと

- 環境に配慮した設計
- エネルギー効率の向上
- より高品質、より少量の部材

お客様がこのコンピューターを永くご愛用いただいた後で廃棄するときのために、簡単に解体でき、できるだけ多くの部品をリサイクルできるよう設計しました。コンピューターの梱包箱もリサイクル可能です。

このコンピューターには、HP の電源管理テクノロジーが搭載されています。これにより、非搭載のコンピューターと比較して最大 45% の省電力が実現します。最小限の電力のみ使用することで、電気代はもちろん、二酸化炭素の排出も削減できます。

HP では、お客様とご家族、そして地球環境を守るため、可能な限り安全な部材を全製品に使用しています。

